

第86回番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和3年1月26日(火)
2. 開催場所 書面開催(新型コロナウイルス緊急事態宣言中だったため)
3. 委員の出席 委員総数 6名
- 出席委員 5名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、須貝昭子、神垣美代香、
中川弘佳、桑田政美
- 欠席委員の氏名 智内威雄
4. 議題 1) 「デイトライトタッキー」火曜日
箕面東高校2年生インターンシップ生との内容
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 各委員に事前に紙資料、番組音声データをお送りするなどし、審議内容
については口頭または書面で提出いただいた。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明（書面）

箕面東高校では「箕面東版デュアルシステム」という選択制の授業があり、社会に通用する力を身につけるために、企業で職場体験を行っています。みのおエフエムでは、2学期と3学期に週1回火曜日×3週で2名を受け入れ、午前中の生番組への参加や、収録番組の見学、箕面市内での取材同行など、ラジオ局スタッフとしての業務を体験してもらっています。今年はコロナ禍で、取材同行はできませんでしたが、番組で、高校生たちには馴染みがない歌謡曲を、家族や知り合いからリサーチして選曲してもらったり、菅原さんはタレント志望、上野さんは声優志望というそれぞれの個性を存分に発揮してフリートークを充実させてもらいました。

みのおエフエムでは、上記のような中・高校生の職場体験のほか、学生の番組や、夏休みのこどもラジオ体験、ラジオの仕事について伝えるゲストティーチャーとして小学校の授業に出向いたりしています。今後も、ローカル局として地域の若いかたたちがラジオに触れ、楽しいと感じてもらえるような機会を積極的に設けていきます。

(2) 審議

委員A：大変興味深く聞きました。私たちのNPOでも箕面東の学生さんを受け入れており、受け入れる側として、日常的な体験メニューを用意するのは難しく、魅力的な体験はそう多くないので、何をしてもらおうかと悩むことが多いですが、その点、タッキー816の番組にゲストで出演し、自分の夢や学校生活のことを表現できるという経験はとても刺激的なことだと思います。パーソナリティとのやり取りも、とても自然体な会話だったので聞きやすかったし、2人の高校生から、番組に出演している楽しさや喜びが伝わってきました。地域の高校生の素の姿が垣間見えてきて、箕面東高校に親近感が沸きました。

委員B：高校生二人とも落ち着いていて、「間」も良く、聴きやすいと思いました。内容も分かりやすく、パーソナリティの引き出しかたも良かったです。若い

かたたちが現場でこのように実践できることは、将来役に立つと思います。

委員C：「箕面東高校がすごいことになっている」と、言うのが第一印象です。この番組を聴かなければ、知り得ない情報があり、とても有意義でした。高校生たちはとてもラジオでの話し方が上手で聴き心地がよかったです。高校生が参加する番組は以前も聴きましたが、話す内容や情報がとても新鮮です。また、現在の高校生像をいい意味で裏切ってくれて、地域密着のメディアだからこそ聴けること、話せること、そして、何より高校生がラジオだからと言ってかしまっていないことが良かったです。

委員D：コミュニティFMはエリアが狭く、リスナーと放送局の距離が極めて近いのが特徴です。それだけにリスナーの熱心さや熱さが伝わりやすい媒体です。さらにいえばコミュニティFMは地域住民の「アクセスと参加」で成り立っています。「アクセス」は地元の生活者、町内会、学校区、商店会等々のコミュニティグループの情報提供や電話、メール、FAX、イベントなどであり、「参加」は番組に出演したり制作したりすることになります。市民がリスナーという受け手から番組に参加する送り手になる。こうした「アクセスと参加」により放送局とリスナーの直接交流が果たされるということです。こうした意味から、今回の番組はタッキー816の番組づくりの重要な役割を果たしていると思いました。

- ・地元高校の「デュアルシステム」という授業をうまく活用している。
- ・今回登場の二人のキャラが際立っている。
- ・パーソナリティとインターンの高校生とのやり取りを聴いていて、パーソナリティの気遣いを感じられて良かった。

このような点で評価しました。

地元高校とのタイアップはコミュニティFMならではの取り組みですので、このような形で他の高校や大学、企業や商店会など広げてほしいと思います。

委員長：中・高生の職場体験は以前から良いことだと思っています。大変な職場体験をタッキー816が受け入れていることは、有難いことです。中・高生という年代は、未来に対して一番夢があり、一方で不安な気持ちもあり、不安感と希望に満ちた時代で、その時期に、いろいろな世界があることを実体験し、知ることは素晴らしいので、今後も大いにやってほしいと思っています。特に、不特定多数を相手にする職場ですので、体験するほうも貴重です。自分の意見をちゃんと発言できる今の中・高生は素晴らしいです。全体的には、

受け手のパーソナリティはベテランだったため、技術を駆使して対応して
ました。今回出演した2人は、ともに手慣れた高校生でしたが、体験者によ
ってさまざまだと思うので、さらに工夫をしてほしい。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<https://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

令和3年1月26日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会